

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年6月8日(月)～平成27年6月14日(日) [第24週] の感染症発生状況

第24週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 手足口病でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.88人と前週(7.48人)より増加しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は6.48人と前週(5.64人)から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

手足口病の定点当たり患者報告数は4.24人と前週(2.76人)から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意しましょう！！

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者報告数は、全国的に増えており、川崎市においても例年に比べ大きく増加しています。第24週の定点当たり患者報告数は6.48人となり、平成11年のデータ収集開始以降、過去最多となりました。

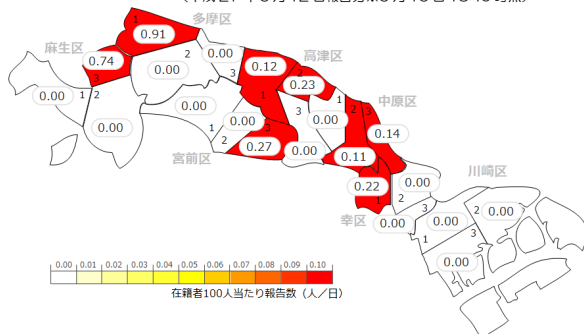
特に、高津区、宮前区、多摩区などの北部地域を中心に流行がみられます。

学校・保育園等欠席者サーベイランス情報

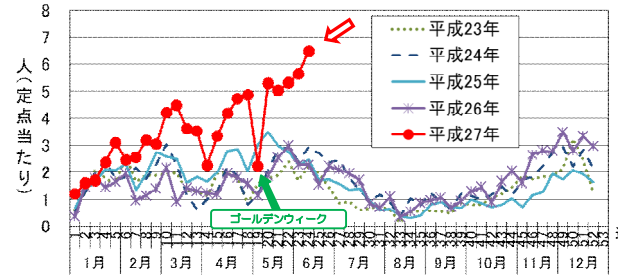
【溶連菌感染症の保育園児報告数※】

※在籍者100人当たり

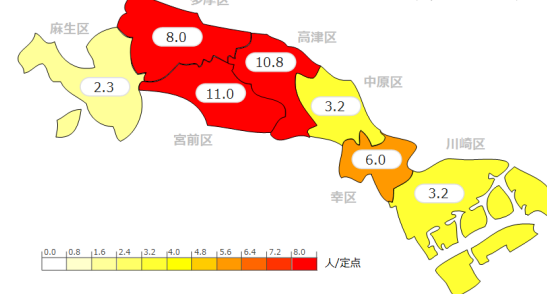
(平成27年6月12日報告分※6月16日13:40時点)



川崎市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況

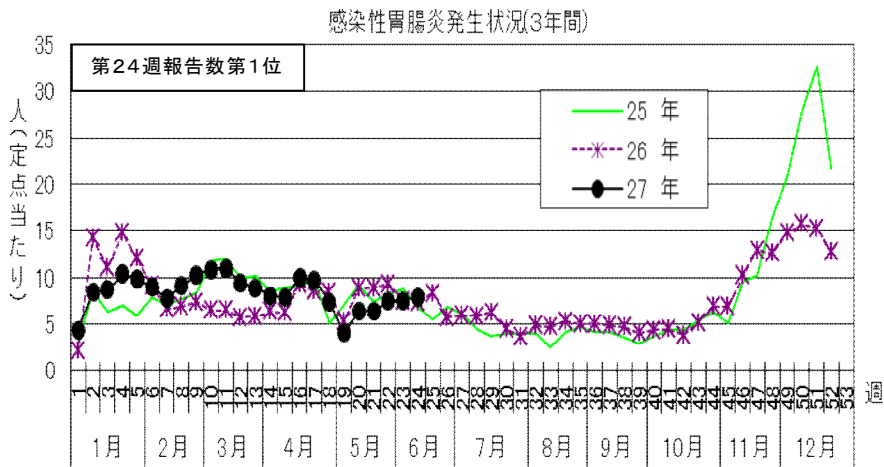


川崎市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況 (第24週)



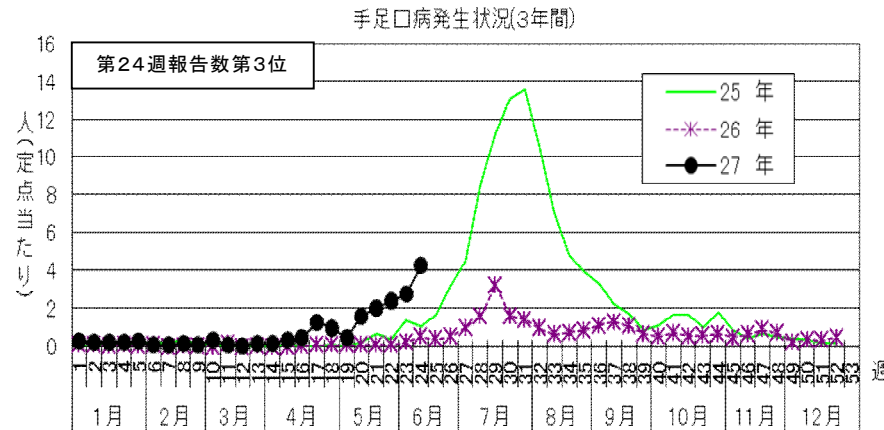
<川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)より>

発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局健康安全部・各区役所保健福祉センター(保健所)  
(問い合わせ先) 044-276-8250



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

第24週報告数第1位



手足口病発生状況(3年間)

第24週報告数第3位